

原発 ゼロ にむかって

2012年3月28日 No.15

<http://www.tokyominiren.gr.jp/>

編集・発行／東京民医連事務局 tel : 03-5978-2741 fax : 03-5978-2865 mail : sien@tokyominiren.gr.jp

3.11 キャンドルプロジェクト — 被災地に思いをはせて —

3月11日、昼に様々な集会を終えた後、青年達が新宿柏木公園に集いました。短時間の集会后はメッセージを書いたキャンドルを手に『イマジン』や『明日という日が』、『福島ソング』を流しながら、「新宿の繁華街のど真ん中を一緒に歩きましょう！」と沿道の人々によびかけながら歩きました。次々と飛び入りも加わり、参加者は最大400人程に膨らみました。手渡したキャンドルを手に沿道から応援してくれる人の姿もありました。この集会は、労働組合青年部や青年団体・うたごえ・個人で実行委員会が構成され、「犠牲者の追悼」、「復興への決意」、「原発のない社会への願い」の三つを大事にしながら、広く青年が集まれるものにしようという議論を重ね、ツイッターやブログなども活用し、集会参加者を広げました。アピールウォークのゴール地点花園西公園で、余韻冷めやらぬ青年たちがキャンドルを写真に収める姿が印象的で、しみじみと決意を新たにす集会となりました。

(東京民医連事務局 村上絵理子)



“さようなら原発” 足立3・11パレード — 関心の高まりを実感 —

“さようなら原発”足立3・11パレードが西新井さかえ公園で開催されました。近隣の方なども参加もあり、目標600人を上回る700人が参加。東都協議会からも、呼びかけ人の吉田万三先生、露木静夫先生をはじめとして職員52人・友の会員33人計85人が参加しました。集会では、呼びかけ人を代表して吉田万三先生



が主催者あいさつ、続いて元福島県在住者、若いお母さん、外国人、ひこばえ会（セツルメント診療所）の植益不二男先生、東善寺（花畑）の石川徳信住職など7の方がそれぞれの立場から「脱原発」を力強く訴えました。震災が発生した時刻（午後2時46分）に全員で黙祷。パレードでは、“ラップ”調のユニークなコールが、人通りの多い街中で大いに注目を集め、隊列に手を振ったり声をかけたりして激励してくれる人も。「初めての場所での初めての集会・パレード」でしたが、天候に恵まれ、大きなトラブルもなく無事終了。身近な問題となっている放射能汚染への不安だけでなく、原発廃止にむけた区民の取り組みでした。